

## 回覧

令和3年(2021年)度 第八回 定例役員会 2021年8月7日(土)

～2021年8月2日(月)作成～ (会場:ボンシャンス)

### < 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

強い日差しに向かって元気に咲いている向日葵(ひまわり)のように、皆様におかれましては益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。

6月1日から始まった新・福庭自治公民館建設工事は最初の1か月で予定通り解体工事を完了し、現在それに続く新築工事が当初の工程表を遵守しながら進められています。その建設現場の、皆様が通行される道路側には井手添設計事務所殿と馬野建設株式会社殿が制作されたご案内の看板があり、工事の内容について写真入りで説明が丁寧になされています。お時間のある方はご覧になって下さい。

### < 公民館新築進捗(しんちよく)状況 >

#### ～ 新築工事のスケジュール ～

6月28日(月)～8月下旬 \*地盤調査～地盤改良の後、基礎工事を完了。

7月6日(火) 午前10時 \*地鎮祭を挙行了しました。これは工事の安全を祈願する神事で、設計事務所、新築業者、公民館執行部、建設推進委員が出席して行い無事終了しました。次ページにその地鎮祭の写真を掲載しています。

9月上旬～11月30日(火) \*この3か月間で建方～内外装を経て新築工事を完了します。数日のずれもあるかも知れませんが納期厳守で作業頂きます。

12月中旬 のお日柄の良い日に完成を祝う竣工式を開催します。今まで支えて下さった方々も来賓としてお迎え致します。



＜新・福庭自治公民館建設 地鎮祭 2021年7月6日＞

(前列左から馬野慎一郎 馬野建設代表取締役社長、筆者、井手添 誠 井手添建築設計事務所社長、梅田茂信 副館長、土井博文 建設推進委員、後列左から若木亮輔 馬野建設建築部工事長、馬野浩司 同社建築部長、前田禰宜宮司、野田克也 井手添建築設計事務所常務、加藤 一 馬野建設取締役営業部長)

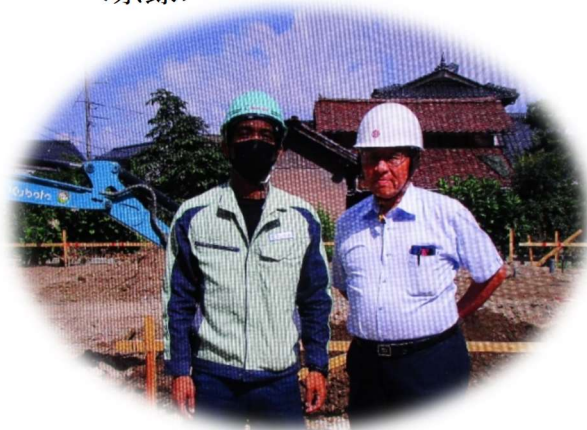


＜地鎮祭 館長鍬入れ＞



＜工事現場に設置された看板＞

＜余録＞



＜若木亮輔 建築部工事長と筆者＞

\*2021年7月27日(火) 午前8時45分  
公民館建設現場にお邪魔して(5分間)  
若木亮輔 馬野建設建築部工事長と  
お話した。

「遅れても年内完成を、」とお願いしたら、  
「館長、今からそんな事を言わないで下さい。  
それではズルズル遅れます。我々はあくまでも  
11月30日納期厳守で取り組んでいます」と・・・  
この真っ黒に日焼けした男のその一言に、私は  
十分に満足だった。そしてこの公民館建設  
プロジェクトは必ず成功すると確信した。以上

## ＜福庭自治公民館新築特別寄附金（自主的な寄附）の集計状況＞

この自主的な寄附金はプラスアルファ、つまり予備の財源です。然し、これが増えれば増える程低利借入金の返済額と返済期間が減っていくという重要な財源でもあります。その金額に応じて寄附金銘板にお名前を刻(こく)し永く新公民館に掲げます。

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯 080-4261-1979) お電話を下されば、私が戴きに参ります。

この寄附金の受付期限を新公民館が完成する令和 3 年 11 月末日と致します。また新公民館完成後も様子を見ながら引き続き受け付け致します。

\*令和 3 年(2021 年) 7 月 31 日 (土) 現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄附頂いた世帯数： 151 世帯 (全体の約 36.4%)

(2) 寄附金の合計： 487 万円

(3) 個々の寄附金額の概要：最高額：30 万円 (1 名) 30 万円 (福庭青年団) 25 万円 (2 名：1 名は福庭、もう 1 名は福庭以外の方です) 20 万円 (1 名) 10 万円 (12 名) 5 万円 (11 名)、3 万円 (23 名)、2 万円 (15 名)、1 万円 (84 名・内 1 名は福庭以外の方です)

## ～シリーズ「心に残った一曲」(第 11 弾)～

東京オリンピック 2020

### オリンピック賛歌 ( Olympic Hymn )

新型コロナウイルス感染拡大により、開催の賛否が渦巻く中、先月 7 月 23 日から東京オリンピックが始まった。マスク着用を初めとする感染防止策と演出の高揚感をどう両立するかの手腕が問われた開会式は、個人的な感想として「良くここまで準備・練習したなあ・・・」だった。日曜朝の番組ではないが、「あっぱれ！」を差し上げたい。ところで、前回の東京オリンピックは 57 年前の 1964 年 (昭和 39 年) で私が小学校 3 年生の時だった。今の福庭バス停前 (ボンシャンス前) の通りを聖火ランナーが走るという事で一族内揃って応援に出かけた。聖火ランナーが近づいてくると祖祖父が「おい、万歳をすったあぜ！」と 9 歳の私に叫んだ。皆んなと一緒に大声で何度も

万歳をした記憶がある。その時の東京大会も含めて、開会式のオリンピック旗掲揚の際に流れる素晴らしい音楽がある。皆様よくご存じの「オリンピック賛歌」である。オリンピックとは単なる総合スポーツの世界選手権ではなく、スポーツを通じた世界最高の平和の祭典である。近代オリンピックの祖、クーベルタンはオリンピックを「神聖で高尚な」競技大会にしようと考えた。そのために彼は芸術、とりわけ音楽を最大限に利用した。開会式に招かれた何千人もの聴衆はオリンピック旗や国旗の掲揚の際に流れる聖なるハーモニーに酔いしれた。

1896 年第 1 回オリンピック・アテネ大会から音楽が効果的に使われた。特に国王の開会宣言の後に演奏されたスピロ・サマラス作曲の「オリンピック賛歌」は大きな感動を呼んだ。静かにゆっくりと始まる旋律は、やがて徐々に躍動を帯びすべての声すべての楽器が一体となってこの上なく壮大な効果を創り出して聴衆を魅了した。

然し、そのアテネ大会の後、オリンピックは商業主義の万国博覧会に飲み込まれて行き暫く低迷する事になる。それとともに「オリンピック賛歌」は忘れ去られ楽譜も行方が分からなくなってしまった。

それが、1964 年（昭和 39 年）の東京大会の前にピアノ演奏版の楽譜が発見され、日本のオリンピック委員会（IOC）は当時の日本音楽界で頂点に立っていた古関裕而（こせきゆうじ）に楽譜の再構築とオーケストラ用の編曲を依頼した。初演は NHK 交響楽団により演奏され、以後この古関版の「オリンピック賛歌」が世界中の大会でオリンピック旗掲揚時に演奏されることになった。こういう日本人にとってはとても名誉な事が余り知らされていないのは少し残念だ。そして古関裕而は同時期にあの入場行進の時に流れる「オリンピックマーチ」も作曲した。前述した昭和 39 年の東京オリンピックの入場行進時に流れたこの曲は、これから始まる世界最高のスポーツの祭典で繰り広げられる感動のドラマを予感させる見事なマーチだった。

そう、古関裕而さんとは、今年の NHK 朝ドラ「エール」の主人公だ。

その業績については皆様が良くご存じなので、ここで申し上げる必要はないと思う。

ただ、余計な事かも知れないが私の個人的な感想として古関さんの作品には

モーツアルトやベートーヴェンの音楽に通じるものがあると確信する。つまり、彼の音楽は荘厳で華麗な装いをまとっているが、その奥には深い悲しみや慈しみがあり

ひと言で言えば「哀しみを秘めた華麗さ」だと思う。モーツアルトの華やかで

可愛い 27 個のピアノコンチェルトやベートーヴェンのヴァイオリンソナタ第 5 番「春」の第 1 楽章の旋律が世界中の人々の心を打つのは、そういう事だからだと思う。

今回の難産の末に始まった東京オリンピックは蓋を開いてみると日本勢のメダルラッシュで柔道、サッカー、ソフト、野球、卓球、水泳、アーチェリー、フェンシング等の快進撃には目を見張らされる。そして、米子西高出身の入江聖奈選手の女子ボクシングでの活躍により鳥取県に初の金メダルが彼女のはち切れる笑顔とともに凱旋する

日が来るかも知れない・・・それでは、古関裕而編曲再構成の「オリンピック賛歌」の日本語歌詞を下記します。

<オリンピック賛歌～作詞：コステイス・パラマス 採譜・編曲：古関裕而 1958年制定>

大空と大地に清気あふれて 不滅の栄光に輝く  
高貴と真実と美をば造りし古代の神霊を崇めよ  
すべての競技にふるい立てよ みどりの枝の栄光をめざしてここ闘う者に  
鉄のごとき力と新たなる精神とをあたえよ

野山も海原も いまこそきらめく  
真紅と純白の神殿に 世界の国民 四方の国より聖なる園に集いきたるは  
古き昔の永遠なる精神の御前にひれふすためぞ

(備考) この曲が最初に演奏されたのは 1960 年のスコーバレー (米国) 冬季オリンピックでした。その大会を含めて今年 2021 年の東京大会まで合計 38 回のオリンピック大会が開催されました。その内訳は、夏季 16 回、冬季 17 回、ユース 5 回です。そしてこの曲が歌われた言語の種類と回数は次の通りです。英語 10 回、ギリシャ語 6 回、日本語 3 回、フランス語 2 回、ドイツ語 2 回、スペイン語 2 回、ロシア語 2 回、ノルウェー語 2 回、イタリア語 1 回、韓国語 1 回、セルビア・クロアチア語 1 回、オーケストラ演奏のみ (歌なし) 6 回です。なを、日本語の 3 回は 1964 年の東京、1972 年の札幌、1998 年の長野です。今年 2021 年の東京では英語でした。その開会式で歌ったのは N コン全国大会常連の東京都豊島岡女子学園高等学校と福島県立郡山高等学校の合わせて男女 20 名の合唱部員でした。



<今年 2021 年 7 月 23 日東京大会開会式での日本選手団入場行進の様子>



<1964 年東京大会日本選手団入場行進>



<2021 年東京大会五輪旗掲揚の様子>

(これら 3 枚の画像は Google Site 検索からの引用です)